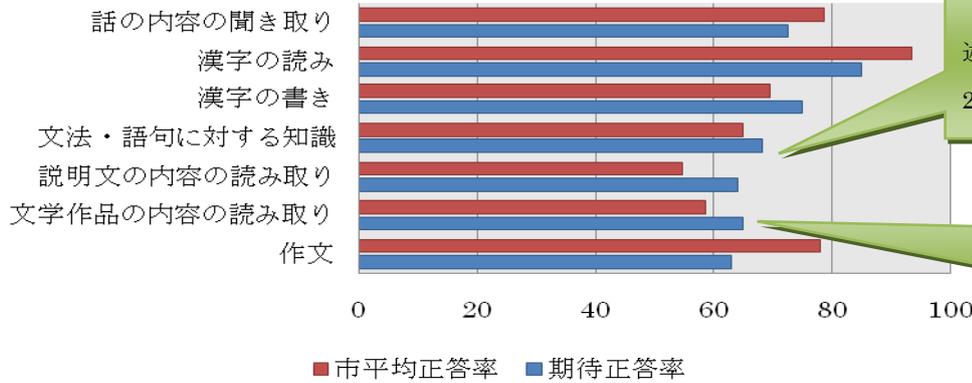


◆◆◆仙台市標準学力検査の結果と分析◆◆◆

中学校国語科

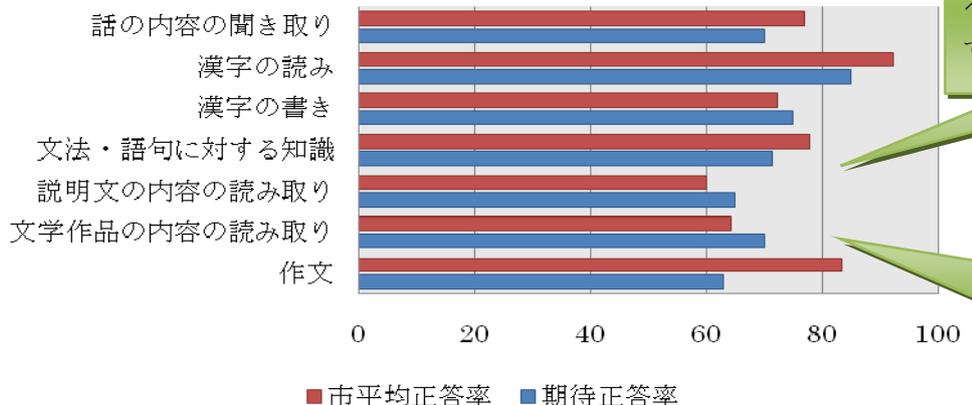
中学1年生の結果



文章の内容を的確にとらえ記述して答える問題の正答率は22.2%でした。

登場人物の心情や場面の様子をとらえる問題の、正答率は39.7%でした。

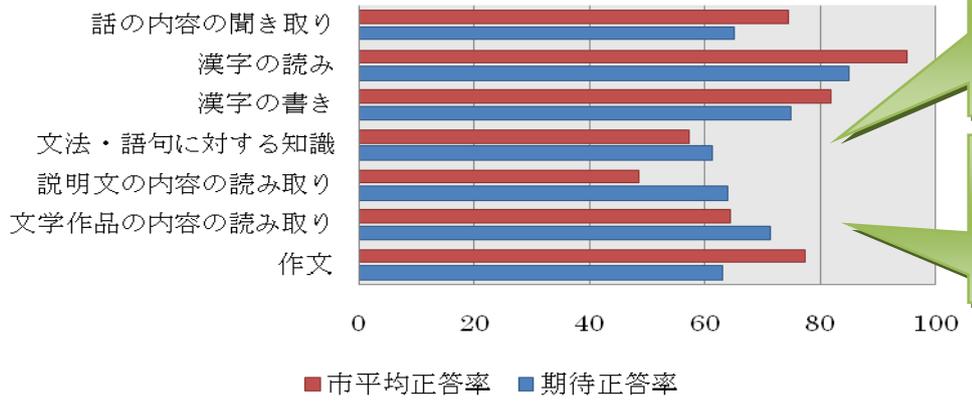
中学2年生の結果



文章の展開に即して内容をとらえ、要約する問題の正答率は32.7%でした。

場面を分けたり、場面の展開に即して心情をとらえる問題の、正答率は45.6%でした。

中学3年生の結果



単語の活用に関する期待正答率は16.8%でした。自立語の分類に関する問題の正答率は51.3%でした。

表現の仕方や工夫に注意して、文章を読む問題の正答率は34.6%でした。

「読むこと」(文学的な文章)

表現の工夫や場面の展開から登場人物の心情をとらえる指導をしましょう I

1 学習材 「少年の日の思い出」

2 着目させたい表現の工夫

- ◇ 比喩や擬人法の工夫<チョウの描写>
- ◇ 連用修飾語(副詞)の効果<一つ一つ, 粉々に>

チョウ集めに夢中になっている少年の様子や心情, チョウの描写における視点の推移などにも着目すると, とらえやすくなります。

3 着目させたい場面の展開(構成の工夫)

- ◇ 現在と過去(回想)の二つの場面のつながりを示す伏線

4 登場人物の心情をとらえるために

- (1) チョウの描写の工夫(比喩や擬人法)から, 少年のチョウに対するどのような心情が読み取れるかを考えさせましょう。

「四つの大きな不思議な斑点が, 挿絵のよりはずっと美しく, ずっとすばらしく, 僕を見つめた。」

発問 1 このとき, 少年はどのような気持ちになったのでしょうか。「僕が四つの大きな不思議な斑点を見つめた」と表現する場合と比較しながら考えましょう。

- (2) 心情を暗示している連用修飾語(副詞)の効果から少年の心情に気づかせるようにしましょう。

「そしてチョウを一つ一つ取り出し, 指で粉々に押しつぶしてしまった。」

発問 2 「一つ一つ」「粉々に」とありますが, 少年はどのようなことを思いながら(考えながら)つぶしたのでしょうか。

「取り出し」「押しつぶす」などにも着目させましょう。

- (3) 現在と過去の二つの場面の情景描写が, 心情を表す上でどのような効果をあげているかを考えさせましょう。

「彼の姿は, 外の闇からほとんど見分けがつかなかった。」

→「そっと食堂に行って……闇の中で開いた。」

発問 3 二つの「闇」は, 主人公の心情を表す上で, どのような働きをしていますか。

5 応用力を高めるために

二段落構成で書く, キーワードを入れるなど, 条件を示して書かせましょう。

例 1

最後に自分の収集を押しつぶしてしまったのは, どんな思いがあったからか, 1段落目にはこの小説の概要, 2段落目には少年の心情とし, 併せて200字程度の作文を書かせます。

例 2

「外では, カエルが遠くから甲高く, 闇いちめんに鳴いていた。」という情景描写の役割を, 現在と過去の場面における「闇」の違いを踏まえてレポート形式で書かせます(レポートの項目は指導者提示)。

「読むこと」(文学的な文章)

表現の工夫や場面の展開から登場人物の心情をとらえる指導をしましょう II

1 学習材 「卒業ホームラン」

2 着目させたい表現の工夫

- ◇ 人物描写の工夫<心情を暗示する動作~「にらみつける」>
- ◇ 会話文の工夫<「……」の効果的な使用>

3 着目させたい場面の展開 (構成の工夫)

- ◇ 場面展開の鍵となる典子の役割

徹夫の気持ちが揺れ動くときの行動、智の一生懸命に取り組む姿、登場人物ごとの会話の特徴などにも着目させましょう。

4 登場人物の心情をとらえるために

- (1) 心情を暗示させる動作から、どのような心情が読み取れるかを考えさせましょう。

「腕組みをして、地面に落ちる自分の影をにらみつけて、思う。」

「腕組み」、「落ちる」、読点の位置などにも着目させましょう。

発問 1 このとき、徹夫はどのようなことを考えていたでしょうか。「自分の影を見て」と表現する場合と比較しながら考えましょう。

- (2) 会話文の中の「……」には、どのような言葉が隠されているかを考えさせましょう。

「いや、そのことじゃなくてさ……おまえのこと、試合に出せなくて……。」

発問 2 「……」には、徹夫のどのような言葉が入るのかを想像しましょう。

- (3) 典子の会話と存在が、場面展開や徹夫の心情を表す上で、どのような効果をあげているかを考えさせましょう。

「がんばったってしょうがないじゃん」(場面1) → 「がんばってもいいことないじゃん」(場面2) → 登場しない(場面3) → 典子は、やはりいない。(場面4) → 「やっぱり来る。」・家族みんな(場面5)

発問 3 典子は、この物語の中でどのような役割をしていますか。場面展開や徹夫の心情に注意しながら考えてみましょう。

読み取ったことを基に、論述させたり説明させたりする言語活動に取り組ませましょう。

5 応用力を高めるために

例 1

「卒業ホームラン」という題名の付け方をどのように考えるかを、200字程度の条件作文の形式で書かせます。2段落構成とし、1段落目は題名の意味、2段落目は題名の付け方に対する自分の考えとします。

例 2

家に帰ってから、家族でどのような話し合いがなされたらどうか。四人グループでそれぞれの立場になりきって意見交換させます。それぞれの本音が出せるように話し合いを進めます。

言語事項

＜文法＞ 品詞の分類や単語の活用について、基本的知識を理解させることを意識して指導しましょう

ポイント

品詞の分類は、単語カードのグループ分けで感覚を養いましょう。

TVなどの話し言葉に注意します。

大きな 白い 犬 が ゆっくりと 走っ た

→ 2グループに分類→自立語と付属語

食べる 山 静かに すぐに 暖かい あの

→ 2グループに分類→活用ありと活用なし

うれしく 大きな 大きい 寒けれ この

→ 2グループに分類→形容詞と連体詞

グループ分けの理由を説明させると、品詞の特徴がはっきりします。

ポイント

単語の活用は、正しい使い方と誤った使い方を並べて指導しましょう。

このきのこは 食べられる。→○ 食べれる。→×
母の愛情が 感じられる。→○ 感じれる。→×
もう1時間だけ 寝せる。→× 寝させる。→○
昨日の味とは 違かった。→× 違った。→○

＜漢字＞ 小学校「学年別漢字配当表」の漢字を、生活の中で書いて使えるように指導しましょう

ポイント

新出漢字中心の指導を転換しましょう。

授業前に漢字プリントを行い、ノートへの練習を習慣化させます。作文指導でも、意識して小学校の漢字を使わせます。

漢字の書きの問題で期待正答率を下回ったものの学習時期は、以下のとおりです。小学校で学習した漢字の定着が不十分です。

中学1年問題	展開 (小6 小3)
中学2年問題	否定 (小6 小3) 敬う (小6)
中学3年問題	推測 (小6 小5)

教科書掲載の「小学校で学習した漢字を確かめよう」を、定期考査や評価に反映させましょう。

ここに注目

仙台市教育センターの国語科のWeb ページから、3種類の漢字学習プリントがダウンロードできます。

http://www.sendai-c.ed.jp/kyouka_link/01kokugo/index.html